

## 北ヨーロッパ学会 2020 年度研究大会（オンライン開催）

時間	プログラム
9:10～9:30	<b>開場</b>
9:30～10:30	<p><b>【自由論題 A】 歴史からみる北欧</b>      司会：上倉あゆ子（東海大学）</p> <p>1. 中丸禎子（東京理科大学）「明治・大正期のキリスト教における北欧受容：内村鑑三とヴィルヘルム・グンデルトを中心に」          討論：田辺 欧（大阪大学）</p> <p>2. 柴山由理子（東海大学）「フィンランド農民政党の社会政策の理念に関する一考察」          討論：渡辺博明（龍谷大学）</p>
10:30～10:40	<b>休憩</b>
10:40～12:10	<p><b>【自由論題 B】 現代の北欧社会</b>      司会：福島淑彦（早稲田大学）</p> <p>1. 尾崎真奈美（相模女子大学）「フィンランドにおける Social Distancing から見えてきた心地よい関係性：オープンダイアログの基本哲学「他者性尊重」の視点より」          討論：鈴木賢志（明治大学）</p> <p>2. 藤岡純一（関西福祉大学）「スウェーデン若者政策—ニートを中心に—」          討論：岸田未来（立命館大学）</p> <p>3. 奥野淳也（明治学院大学等）「コロナ時代の北欧福祉レジーム論：経路依存性と分岐の可能性」          討論：宮本太郎（中央大学）</p>
12:10～13:00	<b>昼食休憩</b>
13:00～13:30	<b>総会・会長挨拶</b> *総会にご出席の会員の皆様は、12:45～13:00 の間にご入室ください。
13:30～15:50	<p><b>【政治・経済合同分科会】 リスク・不確実性と北欧社会経済</b>          司会：徳丸宜穂（名古屋工業大学）          討論：菅沼 隆（立教大学）</p> <p><b>第 1 部（13:30～14:50）</b></p> <p>1. 藪長千乃（東洋大学）「多様性の中のレジリエンス：フィンランドにおける福祉サービス供給改革とその暫定的到達点」</p> <p>2. 倉地真太郎（明治大学）「コロナ禍におけるレジリエンスの検討—デンマーク財政を事例に—」</p> <p><b>休憩（14:50～15:00）</b></p> <p><b>第 2 部（15:00～15:50）</b>          宮川絢子（カロリンスカ大学病院）「スウェーデンの新型コロナウイルス感染症戦略」</p>
15:50～16:00	<b>休憩</b>
16:00～18:00 英語使用 通訳なし	<p><b>【共通論題】 自治体における SDG s（環境関連）の推進と目標達成に向けたシナリオ</b>          司会：青 正澄（横浜市立大学）</p> <p>1. Lars Rydén（ウプサラ大学 Baltic 大学ネットワーク名誉教授）「SDG s 実施における大学の役割（Baltic Region 全般）（仮題）」</p> <p>2. Mikhail Durkin（Coalition Clean Baltic 責任者）「プラスチック海洋汚染防止に向けた Baltic Region の取組（仮題）」</p> <p>3. Jon Nilsson-Djerf（スウェーデン廃棄物協会）「スウェーデン国内における廃棄物政策のトレンド（仮題）」</p> <p>4. 浅野由子（日本女子大学）「ESD(持続可能な開発の為の教育)からみたウプサラ市の SDGs（持続可能目標）の主導性」</p>